

（６）都市環境の保全・改善の取組み（工場等の騒音・振動対策）



排出ガス対策型建設機械等の使用

一般自動車と同様に、工事に使用する建設機械からも環境負荷となる排出ガスが発生します。水道局では、国土交通省が指定する排出ガス対策型建設機械を使用し、環境対策に努めています。また、工事に伴う騒音・振動についても、低騒音型の建設機械を選択するなどの対策により、周辺環境への影響の低減を図っています。

５ すべての主体の参加と協働



（１）水環境への関心を高める取組

水道局では、水源環境保全や水道への関心を高めることを目的として、様々な活動を行っています。

《主な活動》

水の流れツアー

上下水道の役割や「水」に対する関心と理解を深めていただくため、水上バスで淀川（大川）を周遊し、市内の上下水道各施設を見学するツアーを実施しています。



「水」の絵コンクール

市内在住、在学の小学生を対象に、水道や水にまつわる作品を描いていただくことにより、水道や水源環境に対する意識や関心を深めていただくため、「水」の絵コンクールを実施しています。



「水」の絵コンクール

浄水場見学及び出前水道教室

主に市内の小学校を対象に、高度浄水処理の仕組みや水の大切さを学んでいただくため、浄水場見学及び出前水道教室を実施しています。

《広報用パンフレット等》

《広報用パンフレット》

名 称	内 容 等
わたしたちの水道	水道局の事業について説明しているパンフレットです。
大阪市の水道技術	
水のおはなし	水道局の事業について、子ども向けに説明しているパンフレットです。

《広報用動画》

名 称	内 容 等
・なぜ美味しい？大阪市の「水道水」 編 ・水道センター24時 編 ・お出かけにマイボトル 編 ほか8本	「水道水のおいしさ・安全性」、「安定的な水道の供給のための取り組み」など水道局の事業について説明している動画です。 
大阪の水をささえる ～水道のしくみ～	水道局の事業について、わかりやすく案内しているDVDです。 (大阪市内の市立図書館にて貸出及び試聴していただけます。)

ホームページ

水道事業に関するさまざまな情報をタイムリーに発信しています。

○トップページ

<https://www.city.osaka.lg.jp/suido/>

○広報用ビデオ・パンフレット

<https://www.city.osaka.lg.jp/suido/category/3515-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>



(2) 職場改善運動（かいぜん Water）の取組の推進

経営戦略 5-2-2
職員の自己実現意欲の向上

水道局では、職員が自主的に創意工夫し、企画立案力を高め、問題や課題を解決する取組として、平成18年度に「職場改善運動（かいぜん Water）提案制度」を創設しました。業務改善はもとより環境保全・環境負荷低減の取組を含む、数多くの有効な改善事例が提案され、局内で定着してきています。

また、「職場改善運動（かいぜん Water）提案制度」は、公募により集まった意欲ある職員で企画・運営を行い、係長級がその活動をサポートし、局部課長にて審査会を構成、さまざまな機会で見聞交換を行っていることから、局内の所属をまたがって水平的にも、係員から局長まで垂直的にも、全員参加型で行うかいぜん運動となっており、局内のコミュニケーションの活性化、ひいては組織力強化の観点に寄与しているところです。

今後も、職員一人ひとりがさまざまな問題意識を持ち、組織の一体感を高める取組として、推進していきます。

- かいぜん Water 提案件数 令和3年度 82件（累計2,101件）
- 令和3年度提案例（※環境関連抜粋）所属は提案当時で記載。

<環境対策に繋がる主な取組>

提案所属	提案名	概要
①総務課	kintone でらくらく決裁	日本水道協会の決裁は、局事業と異なるため、紙で決裁を行い、多くのコピー用紙を使用していた。 kintone（業務にあったアプリを作成できるサービス）を導入し、決裁アプリを作成することにより、電子決裁化に取り組み、紙決裁が不要になった。
②企画課	フリーアドレスの導入	フリーアドレス化を基軸としたオフィス改革の取り組みの実施により、ペーパーレス化の促進をはじめとしたメリットを得ることができた。 ・ペーパーレス化の促進（印刷枚数84.5%、個人保有資料56.3%削減／脇机がないことで、手の届くところにファイルがないため、極力印刷しないようにするインセンティブが働く） ・ペーパーレスによる業務が定着し、コロナ禍をきっかけとしてテレワーク要請にもスムーズに対応できた。

提案所属	提案名	概要
③豊野浄水場	楠葉取水場揚水ポンプインバータ盤 オーバーヒート故障対策	楠葉取水場揚水ポンプ設備である屋外インバータ盤が、気温が上がる夏場にオーバーヒート状態になり重故障が発生してしまう。この対策として、屋外インバータ設備屋上に散水設備を設置し、制御回路を構築した。具体的には、散水設備に電磁弁を設置して、この電磁弁を時間運転管理か、屋外インバータ盤内の温度上昇を感知して制御することにより、気温が下がる夜や、日中でも雨天時には、散水しない制御回路で運用することができた。これにより水道代の大幅節約に貢献できた。
④総務課	オフラインでもペーパーレス会議	水道記念館の運營業務委託の定例会議を行う際、会議室にLANが無いので、紙資料で説明を受けており、多い月では計150枚前後の紙資料を使用していた。 そこで、報告資料をExcel、Word、PDFのいずれかで提出してもらった結果、紙使用量が、1か月あたり約100枚程度、1年間に換算すると約1,200枚前後の削減効果があった。

6 環境に関する新たな事業活動



(1) スマートメーター導入拡大について

経営戦略 3-3-1
水道スマートメーターの導入に向けた環境整備

無線通信を活用した水道スマートメーターは、検針業務の効率化だけでなく、需要変動を含めた詳細なデータの把握・見える化により、お客さまサービスの向上、省エネルギーなど多くの効果が期待されます。

水道局では、市域の一部エリアへの先行導入や、産学官連携による実証実験を通じて、課題の検証や技術面・業務面でのノウハウの蓄積を図るとともに、他の水道事業体や関連する民間企業等と連携し情報共有・意見交換を行うなど、導入拡大に向けた取組を推進します。

水道スマートメーターの利活用イメージ

